

A. S.（社会システム学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は幼少期から外国の方と出会う機会が多くありました。母が hippo という国際交流に参加していたため外国の方は身近に感じられるものでした。それから月日が経って中学 3 年生の時学校のプログラムで 1 か月間ニュージーランドにホームステイしました。そこでの生活はとても楽しかったのですが英語が話せなかった私は友達に通訳してもらったり話すのをためらったりと悔いの残る留学でもありました。なので、大学生になったら留学するというのは私の目標でした。英語力の向上はもちろんですが、4 年で大学を卒業したいという思いがあったのでセメスター留学を選びました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからは、航空券の手続きや事前授業などやることがたくさんありました。最後の事前授業では TOEIC を受けたのですがその時のスコアはあまりよくありませんでした。私は社会システム学科の特別プログラム CASE の授業を受けているので先生との会話や授業を真剣に取り組むことで留学前の準備期間を過ごしていました。

③ 現地到着後

私は関西国際空港→成田国際空港→トロント→ウィニペグの順に乗り継ぎ、カナダへ行きました。現地の空港には 12AM ごろについたのですが、ホストファミリーが迎えに来てくれました。出発前に連絡を取り合っていたのでスムーズに会うことができました。私は IEP のオリエンテーションが始まる 2 日前に到着し、次の日は学校への行き方や家でのルールを教えてもらいました。オリエンテーションの日は部屋がわからず学校をさまよいましたが、他大学の日本人に偶々会い無事に着くことができました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

マニトバ大学はとても広いのですが使う校舎は限られているので迷ったりすることはあまりないと思います。大学にはフードコート、Tim Horton（カナダで有名なコーヒーショップ）、スタバやジム、ビリヤード、図書館など多くの施設があり充実しています。先生方はとても親しくしてくださり、わからないと伝えたいときはゆっくり丁寧に話してくれました。

◆ 授業内容、課題、試験

授業は日本で受けるプレイスメントテストで授業のレベルが決まります。中間テストと期末テストがあり、それらに受かることで2か月に1回クラスが上がっていきます。より高いレベルの授業を受けたければプレイスメントテストでしっかり点数を取ることをお勧めします。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

マニトバ大学ではアクティビティがたくさんあります。火曜日はスポーツデー、木曜日は Conversation Cafe があり、毎週末にはアイススケートや動物園、ダウンタウン巡り、Beach など様々なところへ行きました。ボランティアは日本の文化を Winnipeg の方々に伝えるボランティアをしました。肉井やお寿司などを売ったり、剣道、ソーラン節、太鼓といった伝統的ものをお披露目したりするものでした。

⑥ 現地での住まい

私は5か月間ホームステイでした。初めの一か月は学校まで15分ほどの家でしたが、ホームステイ先とあわず変更させてもらい学校まで40分ぐらいと遠くはなりましたが素敵なホストファミリーと残りの四か月を過ごすことができました。ホストファザー、マザー、ルームメイト一人との生活でした。お孫さんがよく遊びに来て一緒に遊んだり、パーティをしたりしました。朝ごはんはほとんど毎日シリアルで、昼は自分で作ったサンドイッチか前日の夕飯の残りをタッパーに詰めて学校へもっていきました。夕飯は毎日マザーが手作りしてくれました。日本と違ってレパートリーはどの家庭もあまり多くないので終盤は飽きてきていましたが、いつもおいしく作ってくれていました。ホストファミリーが旅行などで外泊するときはホストマザーの姪っ子とボーイフレンドがきてご飯を作ってくれました。洗濯は週1回まとめてしていました。シャワーは何時でも何回でも使えたのでありがたかったです。部屋の掃除は各自で行っていました。ホストファミリーがしてほしいことは事前に言われたり紙を渡されるのでそれは気を付けたほうがいいと思います。

⑦ 長期休暇の過ごし方

2か月に1回期末テストのあとに10日間ほどの holiday がありました。4月は、同女のメンバーでトロント・モントリオール・ケベック・ナイアガラの滝へ行きました。ノートルダム大聖堂など伝統ある建物はとても素敵で感動しましたし、トロントではカナダ唯一のメジャーリーグであるブルージェイズの試合を観戦しました。ナイアガラの滝は思ったより二倍も三倍も素敵な場所でもた行きたいと思う場所でした。6月は、一人でニューヨーク

に行きました。友達や家族からは、やめといたら...と言われることもありましたが行ってみたいという思いが強く家族を説得して一人で行きました。正直、怖い思いはしませんでした。帰りの飛行機が天候不良で欠航になり次の日の飛行機も満員のため2日後しかニューヨークを発てないと言われたときは泣きそうになりました。しかし、頑張って交渉したところその日の深夜の便に乗ることができました。この様なアクシデントがありましたが、9.11 メモリアル、タイムズスクエア、ブロードウェーなどあこがれていた場所を訪れることができたのは一生の思い出です。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

留学中楽しかったことは、色々な国の人と遊びに行ったりドリンクパーティーをしたりしたこと。学校の近くのパンダティーというタピオカ屋さんには本当に美味しく種類も多いのでお気に入りでした。U OF M の生徒が住むレジデンスに遊びに行きそこで友達を作ったりして楽しい時間を過ごしました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

辛かったことはホームシックです。私は実家暮らしで長い間一人で暮らしたことが無かったので長い間ホームシックになりました。また、英語が話せない、伝わらないストレスから体調を崩すこともありました。仲の良かった友人の帰国はとてもつらかったです。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

IEP の生徒の中にはイスラム教徒の生徒が沢山いたのですが、1 か月間日中飲食禁止のラマダンを身近に感じられました。私のホストファミリーの家では日本と同様靴を脱ぐ習慣がありました。カナダでは靴は脱がないと思っていたので驚きました。

III. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立つもの

パソコン、爪切り、耳かき、熱冷まシート、薬、ヒートテック

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

カナダに到着し2、3 か月はあまり聞き取れずに過ごしていましたが帰国前頃になるとわかるようになってきていました。帰国後受けた TOEIC の結果は留学前に受けた TOEIC の点数より 100 点上がりました。リスニングはやはり大幅に伸びていましたがリーディングは

あまり伸びていなかったのだからからはリーディングに力を入れてきたいと思います。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

少しでも興味があるのなら行くべきだと思います。しかし、留学に行くことになったら現地では積極的に英語を話してください。他大学の日本人生徒で私たちと同じぐらいの間いたのにもかかわらず、日本人とばかり話して生活していたため英語があまり伸びずに帰国する人がいました。こういうのはとてももったいないと思うので積極的に行動してください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

まずは TOEIC のスコアを上げたいです。私は将来英語を使った職業に就こうとは考えていませんが、日本語指導教員の資格を取ろうと考えています。また、機会があればオーストラリアに短期留学したいと思っています。



8月に行ったパンフでアクティビティリーダーの
お誕生日をサプライズでお祝いした時の写真



ここで多くの人が帰国前写真を撮ります

M. M.（英語英文学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は 10 歳の時にキャビンアテンダントになるという夢を持ちました。その夢は高校受験時まで変わらず、「この夢を叶えるために英語の勉強をしよう！」と思い、英語科の高校に進学しました。私の高校では夏休みに 2 週間～1 か月程度のオーストラリアへの語学研修があり興味はあったのですが、「高校で 1 か月行くよりも、もう少し日本で英語の勉強をしてから大学で半年～1 年留学した方が良いよ」という家族の言葉を聞いて、大学での留学を決めました。大学へ入学した頃は、就職活動等のことを考えて 2 年生の春からの協定留学を希望していましたが、TOEFL の点数が達していなかったのでセメスター留学に切り替えました。（3 年次での留学は考えていませんでした。）

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してから少しの間は、航空券の手配や提出書類のことでとても忙しかったです。その後は、冬休み明けに行われる語学機関のクラス分けテストのために、文法の復習や、授業で使っている単語帳での学習をしていました。

③ 現地到着後

私はホームステイだったので、ホストマザーとステイメイトが空港まで迎えに来てくれました。バンクーバーでの乗り継ぎの際に、当日の服装や持ち物について連絡していたので空港ではすぐに会うことができました。ウィニペグには夜中に到着だったということもあり、家のルールや学校への行き方、家周辺のことは翌日に教えてもらいました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

私が通っていたマニトバ大学はとても広く、移動も大変で、最初の 1 か月間は毎日のように迷子になっていました。大学には、コンビニ・食堂・コーヒーショップ・服、本、文房具などが買えるキャンパスストアがあり、施設はすごく充実していました。（学校の中に小さなショッピングモールがある感じ?）。夏になると、野生のウサギやリスが見られ、自然を感じられるキャンパスでもあります。

◆ 授業内容、課題、試験

私はマニトバ大学の中にある Intensive English Program (IEP) という語学研修機関で授業を受けていました。基本的には、Writing、Reading、Speaking の授業がどのレベルのクラスにもあり、それに加えて Pronunciation や Idiom も少し学びました。Writing は中高で習うような英文法から始まり、クラスレベルが上がるにつれて、Paragraph Writing や Essay Writingなどを習いました。Reading では主に英語学習者向けの本を読んでディスカッションやプレゼンテーションを、Speaking ではロールプレイを通して、日常会話で使える表現を学習しました。最後のレベルのクラスでは、プレゼンテーションのコツを学び、実際にクラスメイトの前でプレゼンテーションをしていました。試験は毎月最後の金曜日にあり、合格すると 2 か月ごとにクラスのレベルが上がります。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

私はクラブやボランティア活動には参加していませんでしたが、Conversation Café や週末にある IEP のアクティビティ、Language Exchange にはできるだけ参加していました。Conversation Café では IEP で学んでいる留学生と、ジュースを飲みながら、お菓子を食べながら、英語での会話やカードゲームを楽しみました。IEP のアクティビティでは、キャンパス内にあるスケートリンク場でアイススケートをしたり、ビーチや動物園・ミュージアムに行ったりと、様々な体験ができました。Language Exchange は、日本語を学びたいカナダ人や他国の留学生と英語を学びたい日本人留学生が集まって、日本語／英語で会話をする活動で、そこで知り合った友達とはその活動以外にも一緒に遊んだりしていました。帰国した今でも、英語でわからないことがある時には彼らに助けてもらっています。

⑥ 現地での住まい

通学時間は乗るバスによって異なりますが、大体 1 時間くらいでした。フィリピン系のホストファミリーだったので食事はフィリピン料理が多かったですが、中華やイタリアン料理なども作ってくれました。晴れの日には、家の庭でバーベキューをすることもありました。私のホームステイ先はいろんな英語に触れ合える環境があって、すごく面白かったです。フィリピン人のママとパパ、そして 5 か月間で、韓国・台湾・ドイツ・ベトナム・ウクライナから計 5 人のステイメイトに出会いました。家で一緒に映画を見たり、卓球したり、宿題を教えあったりして、楽しい時間を過ごしました。毎月 2~3 回ほどホームパーティーがあって、多い時は家に 50 人以上のお客さんが来ていました。そこでも、英語にたくさ

ん触れ合えて良かったです。

⑦ 長期休暇の過ごし方

1 回目の長期休みでは、同女メンバーでカナダ国内（トロント・ナイアガラ・ケベック・モントリオール）を旅行しました。トロント・ケベック・モントリオールでは主に市内観光、ナイアガラではナイアガラの滝をクルーズ見学しました。ケベックではほとんど英語が通じず、市内の看板もフランス語表記が多かったので大変でした。この旅行では、鉄道に乗り遅れるなどのハプニングがありましたが、それも含めて良い経験になったと思います。

2 回目の長期休みではニューヨークに行きたかったのですが、その頃にアメリカで銃乱射の事件があったため、安全を考慮して諦めました。その代わりに、友達の誕生日パーティーを開いたり、ウィニペグ市内を観光したりと留学先での思い出をたくさん作りました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

留学中に一番思い出に残っているのが、三連休でパパ・ママ・韓国人・台湾人のステイメイトとアメリカ旅行に行ったことです。車で約 8 時間かけてミネアポリスに行ってきました。滞在時間はとても短く、ほとんどショッピングで終わってしまいましたが、ホストファミリーと旅行できるなんて本当に恵まれていると思いました。旅行最終日にショッピングモール内にある遊園地でおもいっきはしゃいで、次の日の授業はとても疲れていましたが...

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中でつらかったことは、USB と携帯電話が壊れたことです。USB は学校のキャンパスストアでも買うことができるし、無くてもそれほど困りませんでした。携帯電話は本当に困りました。帰国前だったので、ノートパソコンで乗り切りました。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

チップ制度は日本にはない習慣なのでごく困りました。クレジットカードでの支払いの時はあまり気にしなくていいのですが、現金支払いの時は、おつりをチップとして受け取ってもらっていました。また、バスの不便さにも驚きました。頻繁に遅れたり先に行ってしまうたりするという事は聞いていたのですが、バスが故障して知らない場所で降ろされた時は泣きそうになりました。

Ⅲ.留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立ったもの

ノートパソコン・洗濯ネット・日焼け止めは持っていくべきだと思います。学校でもパソコンは使えますが、家で課題や航空券の予約をするためにもあった方が便利です。また、洗濯ネットは、ステイメイトと一緒に洗濯をしていたため、私の場合は役に立っていました。日焼け止めは、日本から持って行ったものを使い切り、現地のドラッグストアで買いましたが、匂いがきつくて使いづらかったです。

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

頭の中で聞いた英語を日本語に直したり、言いたいことを日本語から英語に直したりすることが減り、英語でのコミュニケーションがスムーズになりました。また、留学前と比べると洋画や英語のニュースが理解できるようになりました。一番、留学の成果を感じられたのは TOEIC の点数で、留学前より約 100 点上がっていました。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

留学に興味はあるけど自分の英語に自信がなくて留学する勇気が出ないという話をよく聞きます。それはあまり気にしなくても大丈夫だと思います。実際に、私も留学したいって言い続けてきたのに、することが決まると自分の英語力が不安で行きたくないと思っていましたが、行ってしまえば「やるしかない」と吹っ切れて、留學生活を楽しんでいました。最後は日本に帰りたくないと感じるようになります。

Ⅳ.将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私にとって 5 か月間の留学はあっという間でした。できることなら長期休みを使ってもう 1 度どこかに留学したいと考えています。そのためにも、カナダで培った英語力を維持させるために、英語の学習を続けていきたいです。将来は、世界を飛び回ることができる仕事に就くのが夢です。



ホストファミリーとステイメイトでアメリカ旅行に行った時の写真です。
ショッピングモールの前で集合写真を撮りました。



IEPのアクティビティでお別れパーティをしました。これは7月の最後に開催されたもので、仲の良かった友達がたくさん帰国してしまい、本当に寂しかったです。

H. Y. (英語英文学科・2年次生)

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私は高校生の時から留学がしたいと思っていました。英語力を伸ばすのはもちろんのこと積極的な性格になりたいと思ったからです。入学当初は協定留学を目指していたのですが限界を感じ、セメスター留学をするかたちになりました。カナダを選んだ理由はアメリカに比べ値段も安く手続きが簡単なのとカナダには自然がたくさんあり安全でカナディアンはとても優しいと聞いていたからです。

② 留学決定から出発までの準備期間

まず 2016 年 3 月からカナダに渡航する際に必要な電子渡航許可(eTA)というものが導入されました。これはオンラインで簡単に申請することができます。勉強は行く前にリスニングを伸ばしたかったのでスーパー英語（同志社女子の英語教材）のリスニングをやったり洋楽を聞いたり洋画をたくさん観ていました。また留学に行った先輩の話聞き、日本の文化についてよく聞かれるとおっしゃっていたので日本の文化を簡単に英語で言えるように調べていました。

③ 現地到着後

ウィニペグ空港到着後私のホストファミリーは予定があり現地のエージェントの方に迎えてきていただきました。またその日は本来のホストファミリーではないお宅にお邪魔させてもらい 2 日目からホストファミリーの家に泊まりました。その次の日はちょうどイースターデーだったので教会に行き、ホストファミリーのおばあさんの家で夕食を食べました。学校初日はオリエンテーションで学校案内やクラス発表がありました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

マニトバ大学はとても広くテストの場所が毎回変わるのを探すのが大変でしたが、現地の学生が優しく教えてくれました。また図書館やジムもあり私は授業終わりによく利用していました。レストランやフードコート、カフェもあるのですが閉店になるのが早かったです。

◆ 授業内容、課題、試験

留学前に受けるプレースメントテストによってクラスが決まります。授業は全部で 4 つあります。私は最初レベル 300 のクラスだったのですが簡単だったのでグラマーだけ 400 に変えてもらいました。最後のレベル 600 の writing のクラスは本当に難しく課題も多く毎日必死についていきました。試験は月に 1 度パソコンで受ける大きな試験があり主にその結果によってクラス進級が決まります。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

IEP の Activity は本当に豊富で私はそこで友達との仲を深めていきました。毎週水曜日に Conversation Café、毎週木曜日は Sport Day、土日にはバレエを観に行き、動物園やマニトバのミュージアムなど郊外のアクティビティが多かったです。また 7 月、8 月はアクティビティでビーチに行くことが多かったのも日本から水着を持っていくことをお勧めします。一番楽しかったアクティビティは 8 月のバンフ旅行です。ハイキングをしたりカヌーを漕いだりしました。山も湖も川も空気も本当に綺麗で一生忘れられない思い出になりました。ボランティア活動では 8 月上旬に行われる異文化フェスティバル“FOLKLOLAMA”の日本のパビリオンでお手伝いをしました。ネイティブとたくさん喋れるとても良い機会でした。また私はメキシコ、イタリア、中国やフレンチカナディアンのパビリオンにも客として参加しました。異文化の料理、歌やダンスが楽しめ、とても良い体験でした。

⑥ 現地での住まい

私のホームステイ先にはホストマザー、ホストファザー、子供が 3 人にルームメイトが 1 人と犬が 1 匹いてとても賑やかな家庭だったので寂しさはまったく感じずホームシックに一度もなりません。夕食はホストファミリーが作ってくれます。朝ご飯はパンかシリアルが基本で昼食は夕食の残りか、自分で作るか、学校のフードコートで買うかでした。

⑦ 長期休暇の過ごし方

4 月の下旬に約 1 週間の休みがあったのでトロント、ナイアガラの滝、モントリオール、ケベックシティに行きました。6 月下旬にも長期休暇があったのですが旅行にはいかずウィニペグを堪能しました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

長期休暇で行ったナイアガラの滝がとても楽しかったです。クルーザーに乗って滝の近くまで行ったのですがナイアガラの滝の迫力に圧倒されました。またアメリカとカナダの境界線となっている橋も渡りました。少しですがアメリカに初めて上陸できたので嬉しかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

やはりホストファミリーとの会話が一番苦勞しました。特に子供たちの喋る英語は速くてカナダに来た当初は 9 割何を言っているのか理解できませんでした。自分のヒアリング能力の低さに申し訳なさや悔しい思いでいっぱいだったのですが 5 か月経つうちに 5 割は子供たちの会話が理解できるようになったので成長を感じました。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

カナダ人はとてもフレンドリーなところが日本人とは違うなと思いました。バスを待っている時など全然知らない人が話しかけてくれます。またショッピングモールの店員も世間話をよくしてくれました。また授業中に他国の人たちは分からないことがあればなんでもすぐに質問するところに尊敬しました。

III. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立つもの

パソコン、洗濯ネット、コンタクトレンズ、青汁、爪切り、目覚まし時計

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

スピーキングとヒアリングが伸びたなと感じました。特にヒアリングに関して言うと、留学前は単語、単語で聞き取っていましたが今ではセンテンスでしっかり聞き取れます。またカナダには 3 か国語や 4 か国語が話せる人がたくさんいました。私は英語だけで精いっぱいだと思っていましたが中国語もまた勉強して 3 か国語話せるようになりたいとこの留学を通して思いました。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

留学は英語力の向上だけではなく文化や人間関係などさまざまなことが学べます。私は正直、行く直前になって留学が怖くなってしまい、なんで応募したのだろうと後悔していた時期があったのですが留学中は毎日が楽しくて逆に日本に帰りたくないと思っていたほど

です。また多くの外国人の友達ができただけが一番の宝物です。留学に行きたいという意思がある人は是非挑戦して下さい！！

IV.将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私はこの留学を通して旅行会社の海外支店で働きたいと思いました。そのためにはまずTOEICの点数を上げることと英検、中検、旅行会社の資格に合格することが目標です。また1カ月の短期留学もしたいです。



ホームパーティ！皆で焼きマシュマロを食べました。



バンフでカヌーを漕ぎました。
景色が本当に素敵でした！